## 加茂市

一令和 2 年 9 月定例会·10 月臨時会一

#### 第 211 号

令和 2 年 10 月 31 日

編集発行 加茂市議会

http://www.city.kamo.niigata.jp

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

#### 市議会ホームページ

加茂市議会





、犯罪のない安全・安心なまちづくり条例を可決・・・・・(2)

主 委員会の審査から……(3)

な 9 人が一般質問に登壇……(4)

地方税財源の確保を求める意見書を提出・・・・・(9)

議 案、請 願 審 議 結 果……(10)

ふるさと 加茂

雁木の街並みと笑顔が素敵です

(10月4日 健康ウォーク)

本会議

本会議

本会議

本会議

連合審査会・全員協議会 産業建設常任委員会

決算審查第1特別委員会

決算審查第2特別委員会

決算審查第3特別委員会

社会厚生常任委員会

総務文教常任委員会

17日

18日

23 日

24 日 25 日

28日

29日

30日

1日

2日

6日

9月

10月

定

日

# 犯罪のない安全・安心なまちづくり条例を可決

同意しました。 提出議案二十一件を審議の結果、 この定例会では、 九月定例市議会は、 条例制定、 十七日から十月六日まで会期二十日間で開 各会計補正予算、人事及び令和元年度決算など市長 第百号議案一件の審議未了を除き、 かれまし 原案可決、認定、

議員提出の意見書三件を原案可決し、 意見書は関係機関へ提出しました。

りです。 された議案の内容は、 この定例会に、 市長 次のとお から提出

お なまちづくり条例は、加茂市に 条例制定 0) 95 号議 ない安全・安心 案 犯罪

本的 役割、 まちづくりの実現を推進するた いて犯罪のない安全・安心な 基本理念や市及び市民等の 事項等を定めるものです。 計画的な推進のための基

す。

万七千円などを減額するもので し、職員人件費一千九百五十四 度還付金二千百万円などを増額 額するものです。 総額五千四百十七万一千円を増 補 歳出の内容は、税外収入過年 正予算 会計 80 号議 (第八号) 案

りました。

十三億一千四百十一万四千円と 措置するものです。 五十四万二千円などを増額 この この結果、予算の総 対源は、 繰越金三千三百 額は百五 して

です。 推進債の限度額を変更するもの 整備事業債を追加し、 なりました。 地方債の補正は、 小学校施設 行政改革

会計 三万一千円などを増額し、 出金一千十五万一千円など総額 一千九百十三万三千円の増額で、 源は、県支出金一千五百三十 号議 (第三号) は、歳出で諸支 案 国民健康保険特別 国民

は、 般 七億四千三百十七万七千円とな この結果、予算の総額は二十 .を減額して措置するものです。 康保険税二千四百十六万七千

別会計(第二号)は、歳出で総 額して措置するものです。 繰入金三十八万六千円などを増 務費三十八万六千円など総額六 十八万五千円の増額で、 82 号議案 この結果、 予算の総額は三 後期高齢者医療特 財源は、

のです。 百七十六万六千円の増額で、計(第二号)は、総務費一千 額繰入金を増額して措置するも (第二号)は、総務費一千七3号議案 下水道事業特別会 同

りました。 億八千七百九十二万四千円とな 十三万九千円を増額するもので (第三号) は、 84 この結果、 号議 案 介護保険特別会計 予算の総額は十九 総額 一千六百三

ものです。 四千円などを減額して措置する 二百六十九万六千円などを増額 介護保険料一千百五十六万

億一千三百四十八万五千円と この結果、予算の総

円などを減額するものです。 地域支援事業費百六十六万四千 八百十八万五千円などを増額し、 この財源は、国庫支出金一千 歳出の内容は、 諸支出金一千

額は三十

です。 費十六万八千円を増額するもの 円を減額し、 この 対源 は、 居宅介護支援事業

百五十九万七千円を減額して措 サービス収入二

置するものです。

#### 令和元年度 会計別決算状況 (単位:千円)

た。

三千五百六十二万円となりまし

	区 :	分	歳入総額	歳出総額		翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
_	般 会	計	11, 551, 238	11, 418, 580	132, 658	25, 226	107, 432
	国民健康	保険	2, 776, 188	2, 750, 306	25, 882	0	25, 882
特	後期高齢者	医療	307, 992	303, 340	4, 652	0	4, 652
別	宅地造成	事業	88, 810	77, 910	10, 900	0	10, 900
슾	下水道	事 業	2, 012, 501	1, 995, 454	17, 047	11, 060	5, 987
計	介護仍	呆 険	3, 224, 601	3, 124, 436	100, 165	0	100, 165
	在 宅 が サービス		490, 632	486, 519	4, 113	0	4, 113

,						
1 34 <del></del> 38 A - I	収益的収入	収益的支出	差引額	資本的収入	資本的支出	差引額
水道事業会計 	506, 633	479, 129	27, 504	49, 010	181, 834	<b>▲</b> 132, 824

なりました。

事業特別会計(第二号)は、 問看護事業費二百七十六万五千 るものです。歳出の内容は、 額二百五十九万七千円を減額す 号議案 在宅介護サービ 総

減額し、支出で営業費用六百六 収入で営業外収益二十四万円を 十六万一千円を減額するもので 十六十八万三千円となりました。 一号)は、収益的収支について、 この結果、予算の総額は五億 水道事業会計(第

増額するものです。 100 .額財政調整基金積立金を :報政策費四百万円を減額 議 案 一般会計 (第九号)

定めるものです。 ついて、その期間及び限度額を ムページ構築及び運用事業費に 債務負担行為の補正は、 ホ 1

五月に新栄町で発生した交通事 損害賠償 額 賠償額の決定は、 99 号議 案 損害

を求めたものです。 損害賠償の額を定める議会議決 なり、五十万円を超えるため、 百二十八万七千九百九十九円と 故で相手方への損害賠償額が三

田和子氏 る教育委員会委員に、 議で、十月四日に任期満了とな て同意しました。 育委員会委員に、 九月三十日に任期満了となる教 97号議案 定例会初日の本会 (上町53歳) (新栄町、 会初日の本会議で、 の選 新たに田邊俊 6l 歳) 新たに藤 任につい の選

> 60 歳 した。 委員に、新たに齋藤淳氏 町消防衛生保育組合公平委員会 会 議 号議 で、 の選任について同意しま 加茂市、加茂市・田 案 定例会最終日の (下条、



感染症及び音響対策として、議席前列中央に 般質問の再質問用の発言席を設置しました

## 令和 完 決算を認定

りました。 九月定例会で審査することにな いた前年度決算は、 決 定例会で審査して これまで十二月 今年度から、

96 号

議 案

定例

致で認定しました。 委員長の報告の後、 和元年度決算について、各特別特別会計及び水道事業会計の令 94 号議案 般会 全て全会一 計 各

収入及び支出では、 十三万三千三百十円の収益を上 道事業会計決算は、 五億六百六 収益的

で原案可決しました。

決を行った結果、

全会一

致

任について同意しました。

引き二千七百五十万三千五百1 百九十円の費用を支出し、差し また、資本的収入及び支出 四億七千九百十二万九千七 の純利益となりました。 は、 号議

収入が四千九百一万三百八

のです。 年度分消費税及び地方消費税資 年度分損益勘定留保資金及び当 過年度分損益勘定留保資金、 対して不足する額一億三千二百 資本的収入額が資本的支出額に 本的収支調整額で補てんするも 八十二万四千二百三十七円は、 三万四千六百二十四円となり、 十七円、支出が一億八千百八十

#### の表のとおりです。 閉 後 定 例 同 開 終

各会計別の決算状況は、

二頁

**産業建設常任委員** 

会

九月二十五日に委員会を開催

ため、同日午後、急遽十月臨時 月定例会を閉会してしまいまし 上程せず、 べき第百号議案を失念のため、 いとなり、廃案となりました。 10月 そのため、 第百号議案は審議未了の扱 号議案を上程しました。 れば議事日程に載せる 会最終日で、本来であ 新たな議案として第 議決することなく九 十月六日の九月定例 同議案を議決する

> じ内容のものを、 たものです として、議案番号のみを変更し 九月定例会第百号議案と同 案 第百 一号議案 (第九号)

本会議へ報告されました。

各常任委員会に付託された議案 9月25日から29日の間に各 常任委員会を開いて慎重に審査した 結果、議案は全て原案可決、請願は 採択すべきものと決まり、最終日の

# 社会厚生常任委員

案可決すべきものと決定しま

こともなく、全て全会一致で原

された議案五件について、それ こともなく、 た結果、 し、一般会計補正予算など付託 れ説明を受け、慎重に審査 九月二十八日に委員会を開 特に意見・要望を付す 全て全会一致で原

案可決すべきものと決定しまし

# 総務文教常任委員

案可決すべきものと決定しまし こともなく、 ぞれ説明を受け、慎重に審査し された議案三件について、それ 九月二十九日に委員会を開 般会計補正予算など付託 特に意見・要望を付す 全て全会一致で原

で採択すべきものと決定しまし 私学助成増額· 校の教育環境整備をはかるため、 立高校生の学びを保障し私立高 また、 趣旨妥当として、全会一致 の採択を求める請願 員の説明の後、 コロ ナ禍における私 拡充を求める意 審査を行 は、



審査中の社会厚生常任委員会(9月28日)

でお願

たい、と説明していた。

かどうかにかかわらず、

人件費カ

女性の比率はどうか。

(10)

策定委員及び主任の女

審議会の長はど

(3)

定年延長の運用を変更する

?間が十分でなく二年度は

継続

元を正せば市の財政難を職員の削

況。

人件費カットは最終手段と今

**|** 

・は実施せざるを得ない

、財政状

でも思う。

(4)来年度以降、

員の

画の学校教育活動はいかがか。

加茂市はなぜ、定年延長の職員が9名もいるのでしょうか。 年間で1千万円以上の不要な支出です。 橋 昌 れいわの風 美 本

議員

圕 給料は定年時のまま 歳定年から最長三 定年延長とは六十

というもの。 いて他市等と同じレベル 来いない。市長は市民サ 分かっているのに後任の 減額されず、 えの利かない公務員は本 ではなく、 いたのか。この制度はあ 育成や人員の補充をして くまで特例であり常態化 ・ビスの料金値上げにつ |相違する。そもそも替 た職場に適用するもの 人事院の立場 定年時期が 支給される 期

う思っておられるのか。 長の今後の方針を教えてほし たの ①在任中も考えはあり、 ③定年延長の現状をど (4) 定年延

変更 職時の 配慮が必要との意見があり、 種 長職員の 政 確保できなかった。 市長就任で運用変更の周 任 状況から定年延長はできない。 明できる十分な理由が必要。 を話し合った。 健全化推進計画作成過程 用制度を活用する。  $\widehat{o}$ 延 は実態把握し考えは強くな 意見と職員の生活設 (長の場合は議会や市民 市 民サービス維持、 人件費や退職金、 二年度から運 (2) 昨年 年度途· 知期間 募集職 で、 計 Ò 財政 員退 行財 への 中 延

当部署等とどのように相談し対処

スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の議会録画 映像をご覧になれます (映像は予告なく終了することがあります) 詳しくは11月下旬発行予定の会議録をご覧ください 会議、 伺う。 性比率はどうか。 設置の見解を伺う。⑴男女共同 女性専門課の設置や女性関連施設 なたで、 はあるか。 合計画に男女共同参画の位置づけ 共同参画の講演会はどうか。 行政視察参加はいかがか。 躍推進計画策定及び協議会設置を 基本計画作成はどうか。⑷女性活 画社会基本法に基づく条例制定: 女性消防士がいない。見解を伺う。 女性比率はどうか。 意欲ある女性の研修受講、 男女共同

諮問機関について伺う。 ⑤女性活躍推進の庁内連絡

(6)

定例会

演壇上の第1回目の質問と答弁を要約したものです。

(8)

(g) 総 男女 議会

総数三百五十二人中女性七十八人。 十七人中女性八人。 佐職は三十年度女性ゼロ。 のうち女性登用は十八、 市 (1)課長職十七人中女性一人。 政上初の女性課長。 (2)審議会等二 今年度三 課長 委員

性別

に関

人間 (11)

策推進の 選任され

中で判 係なく、

断

する。

男

る。

(10) 今後の:

全体的

な施

口

[審議会で委員の互

選により

て個

性

が

☆尊重さ

れ、

資質、 人の

能

伸ばす教育活動を推進している。

年延長は一人もいない。 する説明と相違する。

(1)藤田市

(更を対象

職

員や職員組

合へ

た。

本年九月四日に職員

父全員に

長について市長は、

副市長以下担

働 周 せ 変 ŋ

く環境の改善に取り組

についての考えを伺う。

②定年延

知した。

職員補充や人材育成

長の市議会議員在任中の定年延

襲し定年延長の職員には高いまま 減で乗り切ろうとした前市長を踏

給料を支払っていた。

市民に対

希

望の

用 職

三条市は定

やめ

ると昨年度末に決 みでの定年延長の運

> ②審議会の 問 (1)

は何人か。 管理職 女性

③男女共同参

画が必  $\frac{-}{+}$ 学校に女性職員が受講予 定。 義務。 委員は二十人で女性は九人、 市職員で構成の策定主任は三十六 副市長、 位置づける。 に応じ開催したい。 随行に女性を推奨したい。 室等の改修を行 願いしているが応募はない。 性消防士を採用 61 真の男女共同参画社会実現には られず基本計画策定は努力義務 とを意識する。 人で女性は九人、二五%。 (5)庁内連絡 審議会の長は十月九日開催 総合計画策定後に 人で女性は二人、 要。 協議会は設置できるとの 教育長、 策定委員 女 推 進計画 (3)法に条例 いたい。 したい。 会議も同様。 性割合を 課長、 (9)(総合計 んは、 取り組み 策定は努 九 • 消防長 応募を 定。 (7) 自治-増 市 (8)は P 五%、 更衣 四 長、 すこ 画 必 視 (6)要 力 0 女



. 参 画

なく

7

安

武

秀

敏

会では、

生ごみの水分

めたい。

ペットボトルは田

上町と

実施

#### 資源ごみの回収率向上について 平 Y02781 大 貴

## 議員

①①資源ごみ分別

する必要がある。 は みを集団回収にしている について伺う。②資源ご (4) 住民の希望に合わないた と比較し低いのではない 国の七九・四%(二〇一九) 圕 消防衛生保育組合議 向上の方法はどうか。 ③回収率が低いの 市が集団回収を調整 集める回数、 古紙の回収率が全 ごみ減量の方針 、時期が 回収

スマホなどから2次元コードを読み取ると、そ 映像をご覧になれます (映像は予告なく終了

空き家バンクの進捗はいかがか。 ②①昨年の一般質問で、 百件。空き家は何件くらいか。 弁された。 要望している。どう取り組んだのか。 とと、加茂市にペットボトル分別を 三十七行政区で三百四十五件と答 上町両住民に当局からお願いするこ ①①資源ごみ分別とごみ減 を切ることを加茂市、 八十五行政区換算で八 空き家は (2) 田 ただき、 空き家バンクに十 程度と考えている。 ②(1)議員算出の八百戸から一千戸 能かどうか収集業者と検討したい 年 き 空き地対策協議会と連携し進 同 施したい。 -間九百五十万円の経費。 |様のステーション回収の場 た。

市内全域の悉皆調査を実

区長に協力い

演壇上の第1回目の質問と答弁を要約したものです。

(2)NPO法人空き家

定例会

場は専 (<u>4</u>) (<u>1</u>)

用に十 千

台分確保。

子育て支

ルパー事業の見直しを考える。

一百万円を見込む。

駐車

援や地域交流施設として整備

化を進めるべきと考えている。

を掲載している

ライフルホームズの全国

月

日から情

間一千八十万円。 る。 おり、 ごみ処理施 業 (4)ごみ分別や減量化方法も策定作 助 減少し、  $\mathcal{O}$ 市 らつきがある。 収 体に補助金を交付し資源ごみ 議 わ は六〇・八%。 ージで情報提供を行う方法もあ に促進を図っている。 金が の進捗状況に合わせて議論 実施日を市で把握し、 会と議論を重 が調整することは難しい。 市が収集する場合の経費は年 減るなどの影響が生じる。 実施地区や回 田 受け取る古紙売却金 上 町 や消 整備基本構想 団体の事情があ (3)市は集団 ねたい。 団体の 防衛生保育組 画策定作業 数、 御 市 口 時期にば 指 (2)収 ホ 摘 試 口 を進 のと 4 1 0) 収 П

## 詳しくは11月下旬発行予定の会議録をご覧ください 学区外就学生徒にスクー れいわの風 ルバスの 大

橋

久

使用を求める



外就学 学区

生徒のスク ールバス利

か。 いは。 ③ (1) 民公開時のアンケートの趣旨と扱 用いただいては。②旧生田屋の市 るのか。 駐車場がなく、どのような場とす ④⑴メリア三階の運営費を伺う。 も事業を市として行うのか。 の稼働は四一%をどう捉えている ビス事業は六割の稼働、ヘルパー スマホの取扱い、ネットやSNS ②①中学校のスマホ持込みについ はなく、 用は運行方法に支障のない範囲で への認識、 て市の対応を伺う。②中学校での ①登下校が困難な場合、 ②市が行うメリットは。 加茂福祉会へ委託のデイサー 旧生田屋を活用するのか。 柔軟な運行をお願いする。 NPO法人等へ無償で活 取組についての見解は。 学校 後

下校を二十六台のスクールバ で対 や教育委員会が保護者と相談 現 学区外就学生徒等は百十二 在の運行方法に支障が 応する。 六百五十人の スで ない 登

財政を踏まえ活用方法を探りた

ースに今後も意見等をい

(2)活用法を聞くため。

とがメ 人も 分を一 なる。 ②11九月の校長会で文科 を図りながら、 の役割に徹し、 ビス事業特別会計 0 ヨートステイ 近年デイサービスの利用 際の利用可能数は定員より少な ③11定員は施設 メディアリテラシーを学び、 ラル教育を位置づけ、 応じ認め 従い原則禁止とし、 ルパー全員が正規職 ズを把握し利 の啓発と周 いる事業所と比 いる状況であ リット。 般会計へ (2)介護報酬は在宅介護 る。 の併 知 (2)教育課程に情報 繰り出しているこ デイサービス事 も図 民間事業所の誘 用 市は保険者とし 面積から算出。 用が につ へ収入し、 ベ稼働率 個別の つ 増えた。 員。 なげ てい 児童 が 省 ?減り 状況 パ 生徒 は た 通 黒字 低く 1 知 実 モ



とコムソモリスク市

側の

意向

自覚し、

務を遂行する

1

ル んスの 要が まず

役

は割を担

てい

ることを

#### 加茂市の国際交流について

理 大志の会 森 山



議員



②加茂市のトップセー 肢として必要では。 の交流事業についての 市との交流内容見直 圕 との交流も今後の選択 えを伺う。 声が聞こえる。 ク・ナ・アムー ① ! コムソモリス (2) 英語圏 今後

> つ 0

た。

が

 $\mathcal{O}$ 

改善、

湯の指定管理料五千万 文化会館の方向性につ ルスの役割、 いて①七谷地区の皆様 美人の湯存続の陳情 たのか。 地元の協力条件は 美人の湯、 ②美人の 円でも運営可 料 管 近

クウハ

,業収入が増

円の根拠 件は交渉の余地があるか。 で応じる会社への対応は。 県央文化会館として運営する考え 独施設から県央全域の共有施設、 こされたのか。 に対しどのようなアクションを起 実現にどう活動されるのか。 ①(1)経済交流は、 と経緯を伺う。 ⑷文化会館を市単 市内事業者 八千万円 公募条 (3) 公募

L

かし、

それぞれの自治体の

模施設共有はよい考えだと思う。

てい

る。

(4)複数自治体での

11

探したい。

(3)複数の事業所に話

かけており、

直接お会い

し話

1理料は3

増

額

る。

Ú

機会を捉えて意向

必

あ

加茂市の

卜

ツ

を使うの

で、

慎

重

になる必

要があ

を伺 オンラインで交流 るところから行 (2)ニューヨーク新潟県人会と 必 要性 いたい や効果を検討 するなど、

ば多くが納得するのでは ②⑴入館料を上げず現在の き受けてくれる事業者を精い 半分以下になり、 態を続けてほしいとの要望 |隣の日帰り温泉施設の指 が多くて三千万円。 開催提案や協力につい ウにより入館者が増え自主 運営により市の財政 ないことから、 (2)市直営にこだわって 区長会議等の美人の湯で せず、 能、 加するなどで五千万 との考えで指定 美人の湯 管理運営を引 民間 民間事業者 ない · て 話 の経営 定管理 が残れ エや料理 負担 運 っぱ か。 営形 Ŋ が スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の議会録画 映像をご覧になれます (映像は予告なく終了することがあります)

市内で障害福祉サービ

0

管理

市

お け

る障害者福

祉

つ

1)

れいわの風

森

友

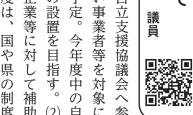
定例会 演壇上の第1回目の質問と答弁を要約したものです。 詳しくは11月下旬発行予定の会議録をご覧ください めるのか。 機能はどこまで細やかな体制が組 **ത** が。 加 茂

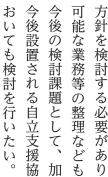


自治体連携の再分配 で思いやる 活をどこま 人の生 人

になる。 援事業所相談支援員と話合 生活支援センター 業所へ委託、 企業に対し一部補助はどうか。⑦ する賃金について、業務の発注元 ⑦就労継続支援事業の利用者に対 体の事業所への業務依頼のハード 害福祉サービスの啓蒙、 の就労継続支援B型事業所は二つ 設置についてお聞きする。 援協議会、これに代わる会議体の と関心が高まっている。①自立支 行ってきた。 帀の業務を就労継続支援を行う事 ス事業者の説明会が行われ、 ,を下げることを意図し質問する。 安定的運営、企業・ ①加茂市の障害者施策の 障害福祉サービス事業者 発注してはいかがか。 県央圏域障害者地 設置に向けた取 と管内の 団体への障 企業・ (2) 市内 が相談支 期待 祖を 課題 Þ 勉 域 寸 委託するためには加茂市としての こ作業所、 市の委託業務を雪椿の

サー 々の 支援の仕組みとし 続支援サービス提供事 える仕組みを整えたい。 を考えてい などのマッチングの強化の仕組 支出することとなる。 こととなり、 がなく、 金を支払う制度は、 ⑦発注を行う企業等に対して 立支援協議会の設置を目指す。 勉強会を行う予定。 画 強会を行 ービス事業者等支援、 いただきたい事業者等を対象 市としては、 事 ビス事業者等の受注支援と 賃金向上のために、 ,業所の受注希望情報 市の単独事業として 1, る。 助成費用は全額 自立支援協 継続的な支援が行 て、 今後障害福祉 今年 国や県 業所の受注 通 補助とは別 市の業務 **①就労継** 障害福: 所する方 度 議 の提 中の 0) 会 制 市 補 (2) サ 度 助 自





加 ŧ

茂 必

市

今後開設する事

業所

Ď,

舎ややま

ふるさと納税を活用した加茂市の魅力の向上 について 野 浅 明 大志の会

議員

るが、 礼品の充実を図ってい と納税に力を入れ、 圕 者を集め続けるため 手段としてふるさ 市の収入を増やす 自治体間で寄附 返 の

出・拡大事業という取 段階となる関係人口創 援プロジェクト、 省のふるさと起業家支 ジェクトという支援策 さと移住交流促進プロ よう工夫が必要。 返礼品合戦とならない 移住、 定住への前 ふる 総務 施 組 ] 0 IJ な が

がか。 礼品の変更についても伺う。 活用方法、 税の寄附額の拡大方法や寄附金の の進捗状況を伺う。 バメントクラウドファンディング の実績と返礼品の傾向を伺う。 できることから始めてみてはいか (1)三十年度は八百三十三件、 ①ふるさと納税の寄附金額 今後の運営方針を伺う。 ③ふるさと納 (2) ガ 返 ム、 加 等 7 と納税特設サイトやインスタグラ せ方を工夫する写真撮影講習会を 返礼品の拡充を行う。 用 行

った。

市ホームペ

ージのふるさ

の考え。③助成経費について伺う。 数、受診率。②予防接種の無料化 ①三十年度、元年度の受診対象者 イルスとの同時流行に備えるべき。 組も目指していくべき。

度実施を考えている。

(3)引き続き

対策として実施し、

新型コロナウ

ンザ予防接種の無料化を緊急経済 ②全市民対象に今冬のインフルエ

返礼品

1の見

千四百九十八万円。

昨年度

ふるさと納税の拡大に努めたい

果等の情報発信を行

茂市を応 を検討する。

援し

たくなる事業に活

る。

今後は議員御提案の

寄附金は寄

附

ツイッターで魅力発信を行

多くの 品数、 を考えたい。 等を追加。 ていただける事業を検討し、 同期は百三十八件、二百四 社、三百五十七品目。 やル (性が高く共感してもらえる事業 人気。 ものや加茂市ならではの 目的があり応援したくなる、 0) で商工会議所青年部と連 ダーシャツやビジネスシュ かもメシ応援プロジェクトは 取扱いポータルサイト 二千七百七十二万円。 御支援をいただい ·四百三十三件、 種類を増やした。 返礼品は常時募集 現在の返礼品は三十 加茂市へ愛着を感じ (2) 同様 五千五 達携し実 明 の取

レクチエなど新潟ならでは 今年度は八月末で八百 コシヒカ 和製品 - や返礼

険料の減免制度が設けられた。 後期高齢

#### スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の議会録画 映像をご覧になれます (映像は予告なく終了することがあります) 定例会 演壇上の第1回目の質問と答弁を要約したものです。 詳しくは11月 下旬発行予定の会議録をご覧ください

煩雑さから申請を断念する方もい

はがきによる広報等、

申請を

③減免制度を知らない方、

手続の

も同時に受け付けてもらえるか。 申請により後期高齢者医療保険料

を伺う。

②国民健康保険税の減免

各保険の対象者数、減免申請者数

者医療保険料及び介護保

(1)

必

勧める必要がある。

免申請者数は国民健康保険税三十 期高齢者医療保険料五千百十二人、 介護保険料九千七百二十五人。 保険税三千六百八十七人、 ①①納付義務者数は国民健康 後期高齢者医療保険料十一 減 後

あと九千六百九十万円必要。

#### 日日 一ナ禍による保険税 大志の会 料 佐 藤 **(**) 減免につい 俊 夫 議



問

康保険税、 よる国民健 ナ禍に 1

二十万円、 送付した。 予算は、 し情報収集に努めたい。 ことを懸念。 種するべき方の接種に支障が出 料化により需要が急増し、 十三歳未満は三十年度七四・ 五六・八一%、 ②(1)高齢者の接種率は、 な周知が必要と思 年の三月三十一日までで、 続可能。 の分かる資料をお持ちいただき 減免書類を作成する。 聞き取りし世帯員全ての保険料 請関係書類を納 の支援一 請をしていただく。 況を確認。 窓口で受付し、 万円計上。 市内全世帯に複数回 介護保険料四十人。 元年度は試算で六八%。 一千五百八十万円と試算。 減免制 六十五歳以上 覧表等で広報し、 全市 十三 窓口にお越しいただ 同時に世帯内の 国 元年度五四·八四%。 賦課状 度の申 |歳未満約四 良 付通知書に 県の情報を注 接種の場合、 (3)全世帯配 印鑑と収 況、 が二千四 [配布する 案内チラシ 請期限は来 三十 (3) 二年 (2)優先接 減 旨七· 減免 継 同 世 税 <del>Т</del>і. 年度 免 (2)封 状 課

#### ドを読み取ると、その議員の議会録画 月定例会

演壇上の第1回目の質問と答弁を要約したものです。

#### 総合計画の作業進捗状況について

Ш 政友クラブ 白 克 広 議員



掲載されている対象施 会の開催状況と作業の 版が示され、 策定スケジュール改訂 進捗状況について伺う。 定委員会、策定主任会 活動を開始した。⑴策 を持って見守っている。 初三十五名が組織され、 一十一名、策定主任当 ないのか確認する。 広報かも七七一号に 五十五施設に変更 条例に基づく審議 市民は期待と希望 策定委員

1 総合計画策定を

条件の き、 業中。 開催。 1) よりも子供たちを中心に置き教育 対象に百七十四名から回答いただ 議会委員は公募委員三名を含む を計画策定過程で検討する。 設は掲載対象施設、 再配置計画 出し合っていただく。②公共施 があり、 民ワークショップに四十二人応募 な成長と学校教育の目標を実現 ②保護者・地域住民の皆様に、 市内在住者二千名を対象に九百九 議会で委嘱する。 十名を選任し十月九日の第一 方針等を掲載する予定。 画の中では公共施設全体の課題 ることを丁寧に説明し、 十六名から回答いただき、 一十四日 ^方や学校教育の充実という点 策定方針、 班ごとに第一 今後集計結果の分析を行う。 改善を図ることで、 中学生には市内の三年生を 作業は策定主任が総合計 I開催。 九月二十六日、 の対象施設で、総合計 骨子案を作成中。 意見やアイデアを 口 (4)十八歳以上 策定主任 記載方法など 十月十日 学校の対 個別の施 健やか 集計: 会議 回 (3)市 0) 審 設

事務説 する。 した。 0 別明会、 九月九日、 策定主任 七日に研 は八月三日に策 日 修会を開 に分野

会議録は、 図書館、 勤労青少年ホーム、かも川荘、 ゆきつばき荘、 ユニティセンターと加茂市議会ホー

◎森山

白川

克広

貴

山 佐田 藤

友和

安田

憲喜

#### ◎樋口 決算審査第二特別委員会 三沢 橋本 博務 嘉男 昌美 一貴 ○森 森 白山 川 中 沢真佐子

道筋を確定され、

地域住民への

卨

知徹底を図っていただきたい

①①策定委員会は九月二十五

審議会は十月九日に開

催

御理解いただきたいと考えてい

今後は大きな課題である。

早期に

②統廃合を含めた加茂西小学校の

④市民アンケート、中学生アンケ よる委嘱状況について内訳を伺う。 ③審議会条例第三条第二項各号に

ートの集約状況はいかがか。



下水道事業特別会計 宅地造成事業特別会計 設常任委員会所管の部

分

水道事業会

審査中の決算審査第2特別委員会(10月1日)

# 決算審査特別委員会

認定すべきものと決定しました。 全ての特別委員会で全会一致で た。その結果、各会計決算は、 開催し、慎重に審査を行いまし 十月二日の間に各特別委員会を 委員会を設置し九月三十日から いては、三つの決算審査特別 事業会計の令和元年度決算に 般会計、 、各特別会計及び

# 決算審査特別委員会の構成

議長、

決算審査第 ◎委員 長 会選出監査委員を除 一特別委員会 ○副委員長

> ◎三沢 決算審査第三特別委員会 嘉男 ○橋本

在宅介護サービス事業特

別

介護保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

安田 山田 大橋 総務文教常任委員会所管の 般会計歳入及び歳出のうち 憲喜 義栄 人久 安武 中野 佐藤 関 秀敏 元栄 俊 雄 夫 国民健康保険特別会計 常任委員会所管の部 般会計歳出 のうち社会厚 分 生

## 求める意見書を提出 地方税財源の確保を

会一致で可決し、関係機関へ提 議員提出による意見書一件を全 定例会初日の本会議において、

りです。 化に対し地方税財源の確保を求 影響に伴う地方財政の急激な悪 ◎新型コロナウイルス感染症の その意見書の要旨は次のとお

・地方の安定的な財政運営に できるよう総額を確保するこ 整機能の両機能が適切に発揮 債が累積することのないよう、 こと。その際、臨時財政対策 どの一般財源総額を確保する 必要な地方税、地方交付税な 地方交付税については、引 続き財源保障機能と財源調 償還財源を確保すること。 額の縮減に努めるととも

二、令和二年度の地方税収が大 幅に減収となることが予想さ 収補填措置を講じるとともに、 れることから、思い切った減 税源の偏在性が小さく、 弾力的に対応すること。 ついても、地方消費税を含 収補填債の対象となる税目

> 判断すること。 は、有効性・緊急性を厳格に 新設・拡充・継続に当たって 積極的な整理合理化を図り、 築に努めるとともに、国 方税の政策税制については、

時・異例の措置として、やむ 到来をもって確実に終了する 今回限りの措置とし、期限の 来国庫補助金などにより対応 を得ないものであったが、本 として講じた特例措置は、臨 ないこと。先の緊急経済対策 却資産を問わず、断じて行わ る見直しは、土地・家屋・償 であり、制度の根幹に影響す 市町村の極めて重要な基幹税 とりわけ、 、べきものである。よって、 固定資産税 は

める意見書

#### 私学助成の 増 額 拡充を採 択

妥当として採択しました。 は一件で、審議の結果、 九月定例市議会で受理した請

## 

採択したもの

生の学びを保障し私立高校の教 育環境整備をはかるため、 ☆意見書提出を求める請願 「コロナ禍における私立高校

が安定的な地方税体系の構

助成増額・拡充を求める意見書」 の公費助成をすすめる会会長) の採択を求める請願(新潟県私学

## 意見 一件を提

提出による意見書二件を全会 致で可決し、 請願第二号採択に伴う議員 ?例会最終日の本会議にお 関係機関へ提出し

りです。 その意見書の要旨は次のとお

成増額・拡充を求める意見書 環境整備をはかるため、 の学びを保障し私立高校の教育 ◎コロナ禍における私立高校牛 国 私学助

超える世帯への支援金を増額 制度を施設設備費も対象にす なうこと。 するなど、制度の拡充をおこ ること、年収五百九十万円を 私立高校生への就学支援

する助成を増額すること。 私立高校への経常経費に対 私立高校入学金への新たな 成措置を講じること。

成増額 環境整備をはかるため、 の学びを保障し私立高校の教育 ◎コロナ禍における私立高校生 ・拡充を求める意見 私学助

学費の公私間格差是正

自の学費軽減制度を拡充する の制度拡充と相まって、県独

一、私立高校への 増額すること。 経常費助 成を

### 連 審 会

を行いました。 開催し、各委員会に付託された 議案十七件について、 九月二十四日に連合審査会を 総括質疑

# 会

開催し、令和三年度から高柳保 いました。 について説明を受け、質疑を行 茂保育園の西宮保育園への統合 育園の休園、令和四年度から加 九月二十四日に全員協議会を

明書の質疑を行いました。 状等に係る説明会の開催概要、 疑を行った後、事務に関する説 整備状況について説明を受け質 市内小中学校用 の指定管理、 交流センター「加茂美人の湯. メーションセンター、市民福祉 加茂土産物センター・インフォ 会を開催し、加茂紙の商標登録 十月二十一日に月例全員協議 加茂西小学校の現 「電子黒板」の

# 議員意見交換会

げることになりました。 ぞれの考えはありましたが、今 が主体となって「子ども議会」 に判断すべきとの意見などそれ な使用も可能ではないかという を開催する例もあり、そのよう 話し合いました。他市では行政 員意見交換会の報告を致します。 たものかを検討して回答差し上 会の理解促進という趣旨に則っ 後相談があった際には内容が議 た議場使用の取り扱いについて こ理解いただくことを目的とし 議会のしくみや運営を市民に 今定例会までに開催された議 議場の目的外使用は慎重

規模での開催も視野に検討を進 ら、今できる形を模索しつつ ウイルス感染症の影響で難しい めたいと考えております。 理解を深める機会となることか 報共有や今の加茂市の課題など タイミングではありますが、座 談会の開催は議会と市民との情 ても意見交換しました。コロナ また、市民との座談会につい

も議論しております。 討、一般質問、予算決算の審議 末を持ち込むことについての検 類集の確認などのために情報端 における細かなルール確認など その他、議場や委員会で例規

沢 茂

加茂市議会議長

滝沢茂秋

たし

## 25 21 日 日 県議長会定期総会(妙高市 議員意見交換会

#### 8 月

議 会  $oxed{oxed}$ 誌

24 17 ~ 30 日 定例市議会 10 目 9 10 議会運営委員会 月 月

21 日 6 目 1 6 日 議員意見交換会 月例全員協議会 臨時市議会 議会運営委員会 定例市議会

30 目 中越地区議長会 議会だより編集委員 議員意見交換会 (見

#### 9月定例会 議案・請願審議結果

株   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪								
# 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国)    1	議案番号等	件 名	結 果					
4       方税財源の確保を求める意見書       原案可決         5       コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国)       *         6       コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(県)       *         7       長 提 出 議案         80       2年度一般会計補正予算(第8号)       原案可決         81       2年度民健康保険特別会計補正予算(第2号)       *         82       2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)       *         83       2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)       *         84       2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)       *         85       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       *         86       2年度水道事業会計施工予算(第2号)       *         87       元年度一般会計決算の認定       *         88       元年度制高齢者医療特別会計決算の認定       *         90       元年度で地造成事業特別会計決算の認定       *         91       元年度介護保険特別会計決算の認定       *         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       *         93       元年度へ渡海保険特別会計決算の認定       *         94       元年度介護保険特別会計決算の認定       *         95       犯罪の公安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(職事等氏)       *         96       教育委員会委員の任命(職事等氏)       *         97       教育委員会委員の任命(職事等氏)       *         99       損害賠償額の決定 <td colspan="6">10.0 No. 10.0 No. 10.0</td>	10.0 No. 10.0 No. 10.0							
□ 方根原原の確保を求める意見書 □ コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(周) □ コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(県) □ 市 長 提 出 議 案  80 2年度一般会計補正予算(第8号) 原案可決 81 2年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 《 82 2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 《 83 2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) 《 84 2年度介護保険特別会計補正予算(第2号) 《 85 2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号) 《 86 2年度水道事業会計補正予算(第2号) 《 87 元年度一般会計決算の認定 認定 88 元年度国民健康保険特別会計決算の認定 《 89 元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定 《 90 元年度を地造成事業特別会計決算の認定 《 91 元年度下水道事業特別会計決算の認定 《 92 元年度次満事業特別会計決算の認定 《 93 元年度水道事業特別会計決算の認定 《 94 元年度水道事業会計決算の認定 《 95 犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定 原案可決 第6 教育委員会委員の任命(旧邊俊樹氏) 同意 第7 教育委員会委員の任命(藤田和子氏) 《 97 教育委員会委員の選任(齋藤淳氏) 《 98 公平委員会委員の選任(齋藤淳氏) 《 99 損害賠償額の決定 原案可決 100 2年度一般会計補正予算(第9号) 審議未了 提出された請願	1							
5       はかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国)         6       コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(県)         市 長 提 出 議案         80       2年度一般会計補正予算(第8号)         81       2年度風民健康保険特別会計補正予算(第3号)         82       2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)         83       2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)         84       2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)         85       2年度水道事業特別会計補正予算(第2号)         86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)         87       元年度一般会計決算の認定         88       元年度人機会計決算の認定         89       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定         90       元年度主造成事業特別会計決算の認定         91       元年度介護保険特別会計決算の認定         92       元年度介護保険特別会計決算の認定         93       元年度不全介護サービス事業特別会計決算の認定         94       元年度小護保険特別会計決算の認定         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定         96       教育委員会委員の任命(開田和子氏)         97       教育委員会委員の選任(齋藤淳氏)         99       損害賠償額の決定         100       2年度一般会計補正予算(第9号)         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を 採却	4							
13かるため、私学助成増額・払元を求める意見書 (国) コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書 (県)	5							
(はかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(県)         市 長 提 出 議 案         80 2年度一般会計補正予算(第8号)       原案可決         81 2年度日民健康保険特別会計補正予算(第2号)       (第2号)         82 2年度大成道事業特別会計補正予算(第2号)       (第2号)         84 2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)       (第2号)         85 2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)       (第2号)         86 2年度水道事業会計補正予算(第2号)       (第2号)         87 元年度一般会計決算の認定       (第2号)         88 元年度国民健康保険特別会計決算の認定       (第2号)         90 元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       (第2号)         91 元年度下水道事業特別会計決算の認定       (第2号)         92 元年度介護保険特別会計決算の認定       (第2号)         93 元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       (第2号)         94 元年度水道事業会計決算の認定       (第2号)         95 犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96 教育委員会委員の任命(職日和子氏)       (第2所決)         97 教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       (第2所決)         98 公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       (第9号)         100 2年度一般会計補正予算(第9号)       (第3所決)         100 2年度一般会計補正予算(第9号)       (第3所決)         100 2年度一般会計補正予算(第9号)       (第3所決)         100 2年度一般会計補正予算(第9号)       (第3所決)         101 2年度       (第3所決)         102 2年度       (第3所決)         103 2年度       (第3所決)         104 2年度       (第3所決)								
市 長 提 出 議 案	6							
80       2年度一般会計補正予算(第8号)       原案可決         81       2年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)       "         82       2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)       "         83       2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)       "         84       2年度不透保険特別会計補正予算(第2号)       "         85       2年度在全介護界院特別会計補正予算(第2号)       "         86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       "         87       元年度一般会計決算の認定       "         88       元年度国民健康保険特別会計決算の認定       "         90       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       "         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       "         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       "         93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       "         94       元年度本資産資産資産計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       接出された請願         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       接出		はかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書(県)						
81 2年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	20	. 23 43	E da T V					
82       2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)       "         83       2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)       "         84       2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)       "         85       2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)       "         86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       "         87       元年度一般会計決算の認定       "         88       元年度日民健康保険特別会計決算の認定       "         90       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       "         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       "         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       "         93       元年度不適事業会計決算の認定       "         94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       お								
83       2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)       "         84       2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)       "         85       2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)       "         86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       "         87       元年度一般会計決算の認定       "         88       元年度国民健康保険特別会計決算の認定       "         90       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       "         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       "         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       "         93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       "         94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       お		, is an in the second and in t						
84       2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)       (         85       2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)       (         86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       (         87       元年度一般会計決算の認定       (         88       元年度国民健康保険特別会計決算の認定       (         90       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       (         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       (         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       (         93       元年度介護保険特別会計決算の認定       (         94       元年度水道事業会計決算の認定       (         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       (         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       (         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       お			"					
85       2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)       (         86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       (         87       元年度一般会計決算の認定       認定         88       元年度国民健康保険特別会計決算の認定       (         89       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       (         90       元年度宅地造成事業特別会計決算の認定       (         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       (         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       (         93       元年度本宅介護サービス事業特別会計決算の認定       (         94       元年度水道事業会計決算の認定       (         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       (         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       (         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       お	83	2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	"					
86       2年度水道事業会計補正予算(第2号)       /         87       元年度一般会計決算の認定       認定         88       元年度国民健康保険特別会計決算の認定       /         89       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       /         90       元年度宅地造成事業特別会計決算の認定       /         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       /         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       /         93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       /         94       元年度水道事業会計決算の認定       /         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の選任(齋藤淳氏)       /         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       /         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       担	84	2年度介護保険特別会計補正予算 (第3号)						
87       元年度一般会計決算の認定       認 定         88       元年度国民健康保険特別会計決算の認定       ( )         89       元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定       ( )         90       元年度宅地造成事業特別会計決算の認定       ( )         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       ( )         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       ( )         93       元年度水道事業会計決算の認定       ( )         94       元年度水道事業会計決算の認定       ( )         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同 意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       ( )         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       ( )         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を 接近       採       お	85	2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)						
88 元年度国民健康保険特別会計決算の認定	86	2年度水道事業会計補正予算(第2号)						
89 元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	87	元年度一般会計決算の認定	認定					
90       元年度宅地造成事業特別会計決算の認定       "         91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       "         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       "         93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       "         94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同 意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を 採       採	88	元年度国民健康保険特別会計決算の認定	"					
91       元年度下水道事業特別会計決算の認定       "         92       元年度介護保険特別会計決算の認定       "         93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       "         94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同 意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を 接       採	89	元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定						
92       元年度介護保険特別会計決算の認定       "         93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       "         94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同 意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       択	90	元年度宅地造成事業特別会計決算の認定						
93       元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定       "         94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同 意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         提出された請願       "         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採 択	91	元年度下水道事業特別会計決算の認定						
94       元年度水道事業会計決算の認定       "         95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         提出された請願       "         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       択	92	元年度介護保険特別会計決算の認定						
95       犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定       原案可決         96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同 意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         提出された請願       "         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採 択	93	元年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定						
96       教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)       同       意         97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         提出された請願       環         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を       採       択	94	元年度水道事業会計決算の認定	11					
97       教育委員会委員の任命(藤田和子氏)       "         98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         提出された請願         2         「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を投入	95	犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の制定	原案可決					
98       公平委員会委員の選任(齋藤淳氏)       "         99       損害賠償額の決定       原案可決         100       2年度一般会計補正予算(第9号)       審議未了         上出された請願         2       「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を投資       投資	96	教育委員会委員の任命(田邊俊樹氏)						
99 損害賠償額の決定     原案可決       100 2年度一般会計補正予算(第9号)     審議未了       2 「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を     採	97	教育委員会委員の任命 (藤田和子氏)	"					
100     2年度一般会計補正予算(第9号)     審議未了       提出された請願       2     「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を投入。」	98	公平委員会委員の選任 (齋藤淳氏)	"					
提出された請願       2     「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を 採択	99	損害賠償額の決定						
2 「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を 採 択	100	2年度一般会計補正予算 (第9号)	審議未了					
		提 出 さ れ た 請 願	1					
<sup>2</sup> はかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願 <sup>                                     </sup>	9	「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を	±50 ±1⊓					
	4	はかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	抹					

#### 10月臨時会 議案審議結果

	市	長	提	出	議	案	
101	2年度一般会計補正予算(	第 9	号)				原案可決

事

日 で

時議会を開く事案が発生しました。 制について強化を図ることはもちろ び申し上げるものです。市議会とし かしましたことにつきまして、お詫 すが、その際に誤りに気付かず当 務局が同席して読み合わせするの ます。その場には議長と副議長、 催されるシナリオ会議で確認いたし 成し、その内容については前日に開 果、原案可決いたしました。 議案番号を付して上程し、議決の 案となりました。急遽市長から十月せず閉会、結果として審議未了、廃 解のほど何卒よろしくお願い るよう努めてまいりますので、ご理 の皆様の付託に応え得る市議会とな よう、議会事務局とそのチェック体 て再びこうした不祥事が発生しない て不信感を抱かせるような失態をお と感じており、市議会や市政に対し する中、どこかに油断があったも そのまま進行してしまいました。 臨時会を召集していただき、新たな 上程すべき一つの議案を失念し議決 る不手際により閉会後あらためて臨 ん、それぞれの役割の重さを再認 日々の職務に当たる所存です。 結びに、今後は自らを律して市 私が議長に就任して一年半が経 この度、九月定例会の次第にお 本会議の次第書は議会事務局が作

0)

緯 户 臨 報 告とお詫び 時会開催 の